

【月刊HMレポート：Vol. 280】 2025年1月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



現代感覚に合うスムーズな組織運営のための

過剰な権利主張に押し負けない経営の構図

◆◆◆ 権利対義務の構図から責務対責務の構図へ ◆◆◆

◆本レポートの内容◆

- | | |
|---------------------------|---------|
| 【1】 深い悩みに追い込まれがちな今日の経営者実態 | …… 17 頁 |
| 【2】 経営者の義務と従業員の権利という構図を脱出 | …… 18 頁 |
| 【3】 事業業績獲得に向けた責務に対する発想の転換 | …… 19 頁 |
| 【4】 従業員の“責務”とはどのようなものなのか？ | …… 20 頁 |
| 【5】 ヒト集めや業績獲得を促進する可能性のヒント | …… 21 頁 |

人員不足の上に残業時間が制限され、厳しい叱咤激励がハラスメントを疑われ、更に65歳までの雇用継続が義務付けられる今日の“経営”に未来はあるのかという悩みが、多くの経営者から聞かれるようになりました。

現代は“経営者受難の時代”という声もあります。ところが、そんな中で“歴史的に蓄積された発想を転換”することで、力強い“組織マネジメント法”が見えて来るといふ指摘も出始めているのです。しかも、その方法なら、組織活動自体も“元気”になれそうなのです。具体的には…。



SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

- ◎ SPCC 労務管理センター TEL : 052-331-0844 FAX : 052-321-1108
◎ jinjiken 人事労務管理研究所 TEL : 052-331-0845 FAX : 052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。